

## 初閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成30年1月5日（金） 11：03～11：14

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

野田聖子 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）

上川陽子 国務大臣（法務大臣）

林芳正 国務大臣（文部科学大臣）

加藤勝信 国務大臣（厚生労働大臣，内閣府特命担当大臣）

齋藤健 国務大臣（農林水産大臣）

世耕弘成 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

石井啓一 国務大臣（国土交通大臣）

中川雅治 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

小野寺五典 国務大臣（防衛大臣）

菅義偉 国務大臣（内閣官房長官）

吉野正芳 国務大臣（復興大臣）

小此木八郎 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

江崎鐵磨 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

松山政司 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

茂木敏充 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

梶山弘志 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

鈴木俊一 国務大臣

欠席者：河野太郎 国務大臣（外務大臣）

陪席者：西村康稔 内閣官房副長官

野上浩太郎 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

横畠裕介 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○人事 2件

いずれも，案件表のとおり，決定，了解となった。

議事内容：

○菅国務大臣：明けましておめでとうございます。

ただ今から、初閣議を開催いたします。

まず、年頭に当たり、安倍内閣総理大臣から、ごあいさつがございます。

○安倍内閣総理大臣：皆様、明けましておめでとうございます。

本年は、昨年の総選挙において与党として国民にお約束したことを、一つ一つ実行していく年にしていきたいと思っております。

勝利に驕ることなく、身を引き締め、国民の信頼を獲得するために、全力で仕事にまい進していきたいと思っておりますので、どうぞ皆様よろしく願いいたします。

○菅国務大臣：次に、閣議案件について、野上副長官から御説明申し上げます。

○野上内閣官房副長官：人事案件について、申し上げます。まず、野田総務大臣が9日から11日までフィリピン国政府要人との会談等のため、林文部科学大臣が7日から10日まで欧州委員会要人との会談及び科学技術関連施設視察等のため、松山内閣府特命担当大臣が本日から15日まで米国政府要人との会談及びジャパン・ハウス・ロサンゼルス視察等のため、茂木内閣府特命担当大臣が8日から12日までメキシコ国政府要人との会談等のため、鈴木国務大臣が明日から13日までリオデジャネイロオリンピック関係者及びアルゼンチン国政府要人との会談等のため、それぞれ海外出張されますので、御了解をお願いいたします。

次に、吉田知弘外204名の叙位又は叙勲について、御決定をお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、松山大臣。

○松山国務大臣：交通事故防止対策の推進について、御説明いたします。

昨年、交通事故の発生から24時間以内に亡くなられた方の数は、3,694人と、現行の交通事故統計となった昭和23年以降で最少となりました。また、交通事故発生件数及び負傷者数はともに13年連続で減少しております。これは、人命尊重の理念に基づき、国を挙げて取り組んだ成果だと考えております。

しかしながら、交通事故でいまだ多くの方々が亡くなり、また、負傷されているなど、依然として交通事故情勢は厳しいものと認識しております。

「第10次交通安全基本計画」では、「平成32年までに24時間死者数を2,500人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する」との目標を掲げております。その達成に向け、「人優先」の交通安全思想を基本とし、今後の高齢者人口の増加を踏まえた高齢運転者の事故防止対策の推進も含め、関係機関・団体等と連携して、交通安全対策を一層充実してまいります。また、先端技術を活用した安全支援システムの開発普及や情報の効果的な活用を強力に推進してまいります。

閣僚各位におかれましては、一層の御協力をお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、国家公安委員会委員長。

○小此木務大臣：昨年の交通事故による死者数は、3,694人で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となりました。しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、近年では、高齢者人口の増加等を背景として、交通事故死者数の減少幅が縮小する傾向にあります。警察では、喫緊

の課題である高齢運転者の交通事故防止対策を始め、第10次交通安全基本計画に基づき、各界各層と連携しながら、子供や高齢者の安全確保を図るための諸対策、悪質・危険な違反の取締り、計画的な交通安全施設の整備、先端技術の普及・活用等、地域の交通実態に即した総合的な交通事故防止対策を一層強力に推進してまいります。閣僚各位におかれましては、より一層の御協力をお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、私から羽生善治氏及び井山裕太氏に対する国民栄誉賞の授与について、申し上げます。

羽生善治氏は、将棋界を牽引する棋士の第一人者として、平成8年に初めて七冠を同時に制覇するなど比類なき功績を重ね続け、将棋界初の永世七冠という歴史に刻まれる偉業を達成しました。井山裕太氏は、囲碁界を牽引する棋士の第一人者として、顕著な功績を重ね続け、年間グランドスラムを含む囲碁界初の2度の七冠同時制覇という歴史に刻まれる偉業を達成しました。両氏は、多くの国民に夢と感動を、社会に明るい希望と勇気を与えることに顕著な業績がありました。両氏のこのような業績を讃え、内閣総理大臣から国民栄誉賞を贈り、表彰することになりましたので、報告いたします。なお、表彰式につきましては、2月13日総理大臣官邸において行う予定としております。

次に、内閣総理大臣から御発言がございます。

○安倍内閣総理大臣：野田大臣、林大臣、松山大臣及び茂木大臣は、それぞれ海外出張いたしますが、その出張不在中、梶山大臣を総務大臣の臨時代理に指定するとともに、男女共同参画及びマイナンバー制度担当大臣の事務代理を命じ、中川大臣を文部科学大臣の臨時代理に指定し、加藤大臣に少子化対策、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策及び宇宙政策担当大臣の事務代理を、世耕大臣に経済財政政策担当大臣の事務代理を命じます。

○菅国務大臣：これをもちまして、初閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。松山大臣から御発言がございます。

○松山国務大臣：「少子化克服戦略会議」の開催について、御説明します。

昨年末に公表された、「平成29年人口動態統計の年間推計」では、出生数が94万1,000人と、過去最少となりました。また、出生数から死亡数を引いた自然増減数も、マイナス40万3,000人と、過去最大の減少となりました。

人口減少が進む中、少子化のトレンドに歯止めをかけることが、喫緊の課題です。現在、政府としては、幼児教育・保育の無償化や待機児童の解消などを進めております。こうした人づくり革命の取組とともに、社会全体を視野に入れ、少子化を克服するための大胆な政策展開を更に加速していくことが必要です。

このため、今後、社会全体で取り組むべき対応策について、従来の発想にとらわれず、幅広い視点から検討を行うため、高い知見を有する各界の有識者を集めて、「少子化克服戦略会議」を開催することにいたしました。今月中に第1回の会議を開催し、「結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会づくり」に向け、個人・企業・地域等の全ての当事者を巻き込みながら、子育てに係るあらゆる段階、あらゆる場面を想定した、ハード・ソフト両面での更なる取組について、精力的に議論を始めて

まいります。

戦略会議では、様々な分野にわたる施策について検討を行う予定です。関係閣僚の皆様におかれましては、是非とも、積極的な御協力をお願いいたします。

○菅国務大臣：なお、海外出張された茂木大臣及び国土交通大臣の帰朝報告は、お手元の資料のとおりです。

ほかに御発言はございますか。

○小此木国務大臣：先ほどの地震ですが、茨城県沖でマグニチュード4.4。茨城県南部の神栖市が震度3。津波の心配はないとの報告がありました。

○菅国務大臣：ほかに御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

〔別添〕

初 閣 議 案 件

〔平成30年  
1月5日〕 (金)

◎人 事

資 料  
な し  
資 料  
あ り

☆総務大臣野田聖子外4名の海外出張について  
(了解)

☆元陸将補吉田知弘外204名の叙位又は叙勲につ  
いて (決定)

〔○署名あり ☆署名なし〕